

テーマ	総合原価計算（仕損・減損）
-----	---------------

1. 次の資料に基づき、(1) 先入先出法、(2) 平均法によって、当月の完成品総合原価と完成品単位原価、月末仕掛品原価を計算しなさい。当月の生産データおよび原価データは次のとおりである。

〔生産データ〕

月初仕掛品	50個	(20%)
当月投入	85個	
合計	135個	
正常仕損	10個	
月末仕掛品	25個	(80%)
完成品	100個	

※（ ）内は加工進捗度を示している。

※材料はすべて始点で投入している。

※仕損は工程の終点で発生している。

※仕損は、通常発生する程度のもの（正常仕損）であり、1 個あたり¥50 の処分価格がある。

〔原価データ〕

	材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	¥5,340	¥1,080	¥6,420
当月製造費用	¥8,160	¥14,520	¥22,680

(1) 先入先出法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円

(2) 平均法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円

テーマ	総合原価計算（仕損・減損）
-----	---------------

2. 次の資料に基づき、(1) 先入先出法、(2) 平均法によって、当月の完成品総合原価と完成品単位原価、月末仕掛品原価を計算しなさい。当月の生産データおよび原価データは次のとおりである。

〔生産データ〕

月初仕掛品	50個	(20%)
当月投入	85個	
合計	135個	
正常仕損	10個	(50%)
月末仕掛品	25個	(80%)
完成品	100個	

※（ ）内は加工進捗度を示している。

※材料はすべて始点で投入している。

※仕損は加工進捗度 50%地点で発生している。

※仕損は、通常発生する程度のもの（正常仕損）であり、1 個あたり¥30 の処分価格がある。

なお、正常仕損品の評価額は全額直接材料費の計算で控除する。

〔原価データ〕

	材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	¥5,340	¥1,080	¥6,420
当月製造費用	¥8,160	¥14,520	¥22,680

(1) 先入先出法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円

(2) 平均法

完成品総合原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円

テーマ	総合原価計算（仕損・減損）
-----	---------------

3. 次の資料に基づき、完成品原価、完成品単位原価、月末仕掛品原価、異常仕損費を求めなさい。月末仕掛品への原価配分方法は平均法によること。

① 当月の生産データ

月初仕掛品	50個	(40%)
当月投入	360個	
合計	<u>410個</u>	
正常仕損	25個	(80%)
異常仕損	10個	(50%)
月末仕掛品	<u>75個</u>	(60%)
完成品	<u><u>300個</u></u>	

※（ ）内の数値は加工進捗度を示している。なお、材料はすべて工程の始点で投入された。

※仕損品1個あたりの評価額は¥15である。

② 当月の原価データ

	材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	¥9,600	¥6,090	¥15,690
当月製造費用	¥76,500	¥87,150	¥163,650

③ 非度外視法により計算すること。

完成品原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円
異常仕損費	円

テーマ	総合原価計算（仕損・減損）
-----	---------------

4. 次の資料に基づき、完成品原価、完成品単位原価、月末仕掛品原価を求めなさい。月末仕掛品への原価配分方法は先入先出法によること。

① 当月の生産データ

月初仕掛品	40個	(50%)
当月投入	260個	
合計	300個	
正常仕損	50個	(100%)
月末仕掛品	50個	(80%)
完成品	200個	

※（ ）内の数値は加工進捗度を示している。なお、材料はすべて工程の始点で投入された。

※仕損品1個あたりの評価額は¥42である。

② 当月の原価データ

	直接材料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	¥16,000	¥7,200	¥23,200
当月投入原価	¥81,900	¥83,160	¥165,060

③ 正常仕損はすべて当月投入分のみから生じており、非度外視法により計算すること。

完成品原価	円
完成品単位原価	円
月末仕掛品原価	円